

# 実施報告書

件名（事業名）	放送セミナー2022 in広島
実施年月日	令和4年1月19日（水）
開催方法	オンライン開催（Zoomウェビナー）
主催者	中国総合通信局、中国情報通信懇談会
協賛	—
後援	—
実施内容 （別紙参照）	<p>第一部では、中国総合通信局で令和元年度から2年間開催した「臨時災害放送局の高度化に関する調査検討」の概要』について、NHKテクノロジーズ 営業企画部 岩木部長から説明がありました。</p> <p>第二部では、中国放送 ラジオ局 畑局長から「いま、ラジオ注目されている理由」と題して、AMラジオ開始から100年が経過する中で視聴環境の劇的な変化していることや東日本大震災などの災害によりラジオメディアが見直されてきたことやラジオの放送ネットワークの強靱化によるFM転換の必要性などが紹介されました。その後、山口放送 技術局 恵良局長から「FM補完放送「エフエムKRY」の取り組み」と題して、エフエムKRYを瀬戸内側（92.3MHz）、山陰側（86.4MHz）の2波で同期放送を実施していることや、テレビ・新聞などを活用した周知広報、さらに、同期技術、トンネル対策の取組などを紹介されました。</p> <p>本セミナーでは、地方自治体、一般の方、放送事業者、工事施工業者等から135名の聴講がありました。</p> <p>プログラム等は別紙のとおり。</p>